

関東農産 独立ポット養液栽培システム

ANS独立ポット栽培

人工団粒構造培地

ANS培地

+

独立ポット

+

専用コントローラー



どなたでもおいしいと

言ってももらえます。
トマトがつかれます。

『特徴』

人工団粒構造ANS培地を使った、一株株独立ポットの養液栽培です。
ANS培地は理想的な根域環境と植物生理に基づいたかん水で、美味しく健康な野菜を作ります。
一株が独立していることで土壌病害のリスクが少なく、連作障害に伴う消毒作業も不要です。

ANS独立ポット栽培

プロの生産者さまから・新規就農・新規参入・水稻農家さんに



味へのこだわりや新規就農など
様々なニーズにお応えします。

土づくりが不要

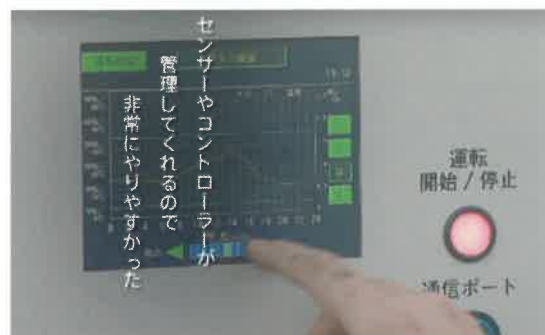
植物にとって“根”はとても大切。
根に適した理想の環境を実現した
人工団粒構造の専用培地を使用。
だからこそ土づくりが不要です。



理想的な物理性を実現し
最高の根張りを実現します。

施肥かん水が自動

根域の水分値をセンサーで読み取り、
専用コントローラーで施肥かん水
をします。必要なとき必要な
量を与えるので、ムダなく省エネ
です。



センサーやコントローラーが
管理してくれるので
非常にやりやすかった

運転
開始 / 停止

通信ポート

低コスト設備

廃液がほとんど出ないため、廃液
処理装置が不要で必要以上の設備
投資がいりません。



水稻育苗施設の有効利用

既存のハウスの利用が可能。
栽培設備の設置・撤去が容易で、
水稻育苗後の空いた時期での栽培
も可能です。



トマトの低段密植栽培

ANS独立ポット栽培

■栽培例(10a)

■ 10a当り4500株、6段栽培、年2作で約30 t

- ・ 栽培株数 : 4500ポット
- ・ 収 穫 量 :
 $160 \text{ g} \times 3.5 \text{ 玉} \times 6 \text{ 段} = 3.36 \text{ kg}$
- ・ 出 荷 量 :
 $3.36 \text{ kg} \times 4500 \times 2 \text{ 作/年} = 30 \text{ t}$

宮城県名取市の例
品種 : 未来²



■育苗ハウスの空き利用

■ 水稻育苗後に

既存の育苗ハウスの有効利用と、新たな設備投資を抑え、栽培に取り組みます。

- ・ 廃液がほとんど出ない栽培で、大がかりな設備が不要です。
- ・ 独立ポット栽培で簡単な架台のため設備の撤去も容易です。
- ・ 地面も選びません。



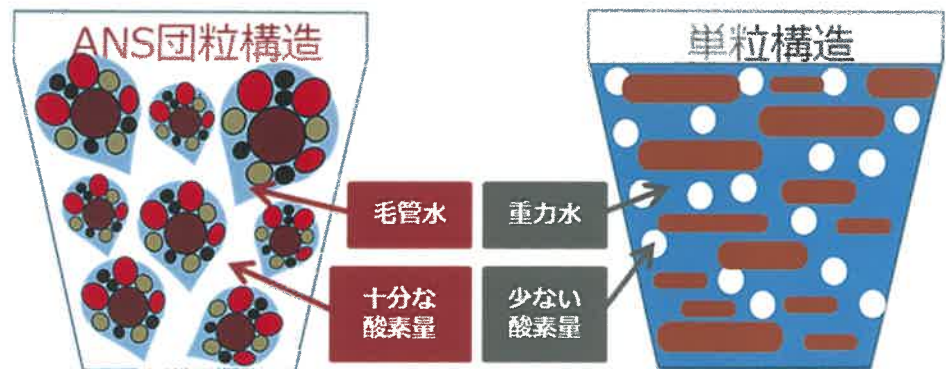
美味しい野菜づくりは**元気な根**から

ANS培地が理想的な働く根の発達を促します

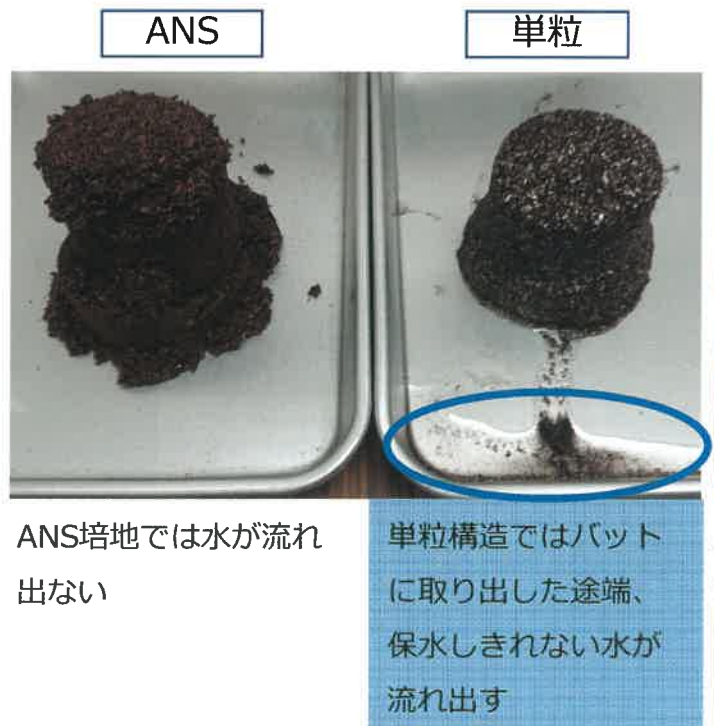
理想的な根域環境を「ANS培地」が実現

保水性が良く、透水性が良い、相反する機能を両立しています。

- 粒子一つ一つが水を保持
- 多かん水による根腐れ等を防ぎ、活力の高い根を維持。
- 適度な隙間を維持することで、根が呼吸しやすい。



■ 保水性の違い 同量の培地に同量の水を加えて比較



美味しい野菜づくりは**元気な根**から

理想的な根の環境と植物生理に基づいた施肥
かん水で美味しく健康的な**トマト**をつくります

最適な土壤環境を維持する「専用コントローラー」

■ 土壤環境の見える化

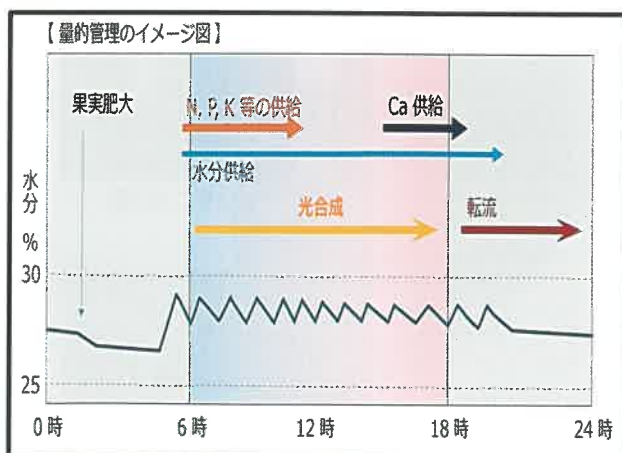
- 系統ごとに培地の体積含水率(vwc)、電気伝導率(EC)、温度(℃)をリアルタイムに表示
- 設定に基づき自動かん水



植物生理に基づいた最適な施肥かん水

■ 栄養生理に基づく施肥

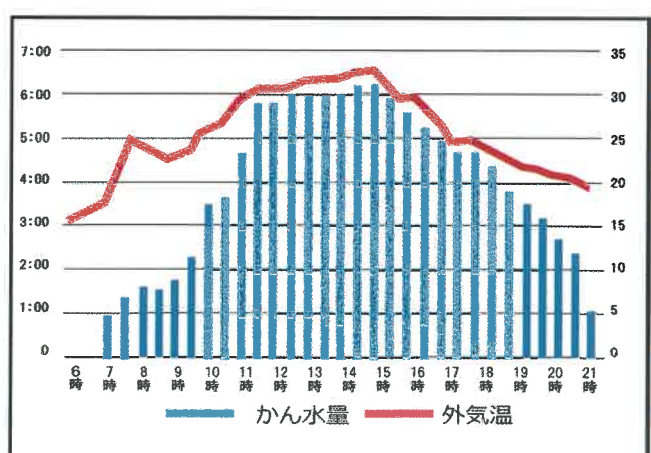
- 生育ステージに則し、施肥量・種類・時間を加味した施肥管理



- ・ 光合成を開始する日の出前から施肥を開始、午後からはカルシウムなどを供給します。

■ 蒸散に応じてかん水

- 土壤水分センサーにより、植物生理蒸散に基づき適切に自動かん水



ANS独立ポット栽培

■ トマト低段密植栽培の流れ

育苗から収穫まで約4～5カ月(1作4～6段)
注)季節や地域によって異なります

① 育苗



セルトレイに播種

② 鉢上げ(播種後20～30日)



ANS培地を詰め十分にかん水



本葉2～4枚の苗を
ポットに鉢上げ

③ ロングポットへ定植(播種後40～50日)



スリットポットをはずし、スルーホールポット
をロングポットにのせる



④ 圃場設置



⑤ 栽培管理



誘引



芽欠き



ホルモン処理

⑥ 収穫

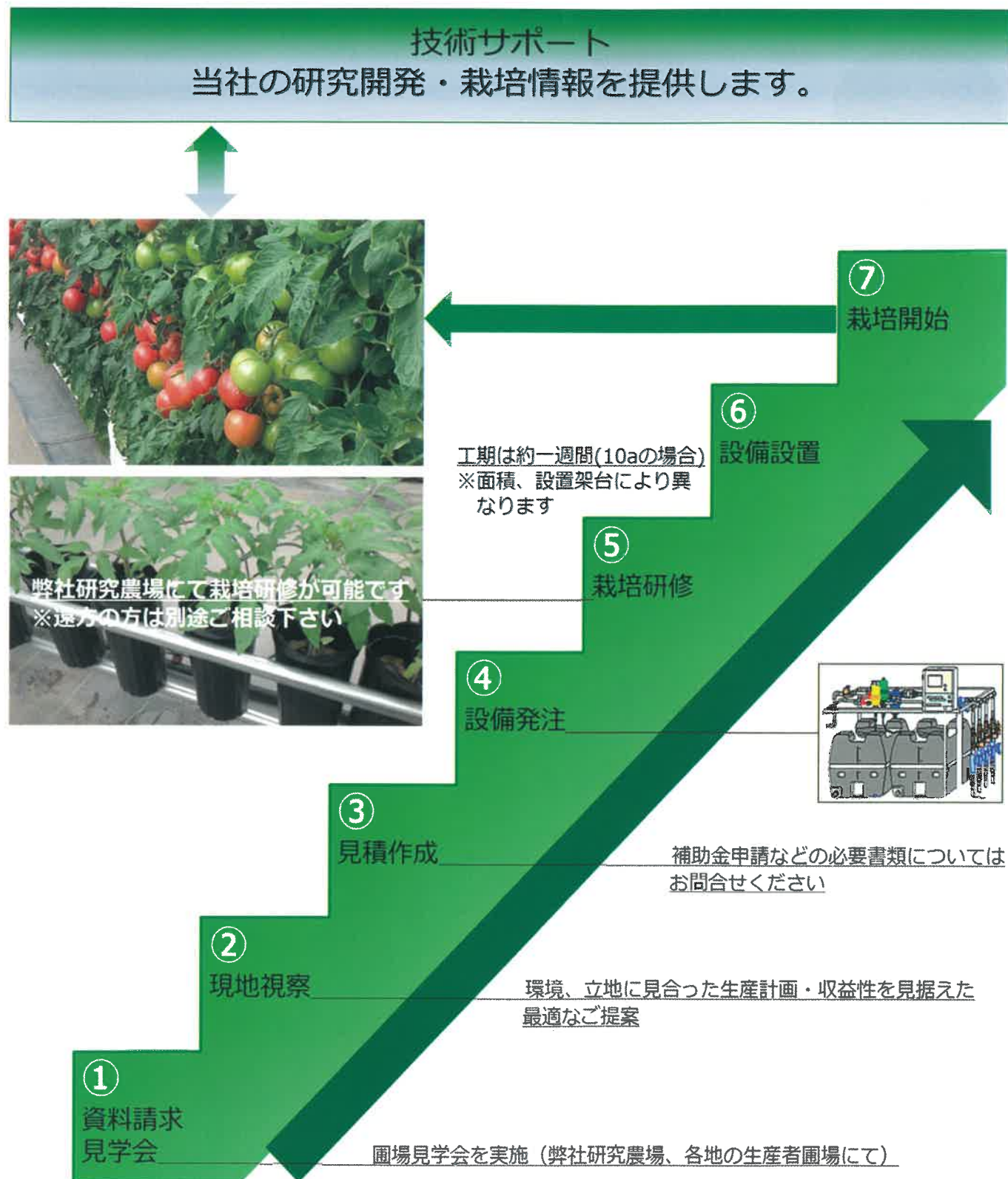


安心のサポート

圃場での事前研修、栽培指導、アフターサービス
まで総合的にサポートします。

ANS独立ポット栽培

■栽培開始までのフロー



関東農産施設園芸栽培システムのメリット

新規就農・新規参入・プロ農家さんそれぞれの課題を解決します

収量 アップ

理想的な根域環境を実現

人工団粒構造ANS培地で理想の根域環境を実現したことにより、理想的な根張りを促進。高性能かん水装置で、土壤水分制御、量的+植物生理に基づくタイミングでの施肥管理ができるため収量アップや品質の安定が可能です。

低コスト

根域環境から植物をコントロール

植物本来の能力を発揮させる根域環境に拘った本システムは、必要以上の環境コントロールを目的としないため、低コストでの導入が可能です。過剰な施肥かん水が抑えられランニングコストも軽減できます。水稻育苗後のハウス等遊休施設が効率的に活用できます。

新規就農 新規参入

勘や経験に頼った栽培ではありません 面倒なコントローラー操作も不要です

理想的な根域環境を実現したANS培地を使用することで、長年かかる土づくりが不要です。把握しにくい根域環境をセンサーで読み取りリアルタイムに表示、システムが必要な時に必要なだけの施肥かん水を行います。

省力化

省力化

連作障害に伴う土壤消毒作業が必要ありません。防草シートなどで除草作業が軽減できます。収穫日などの作業工程の計画化により無駄な作業が省けます。

総合的に サポート

導入後のサポート体制も万全です

(1)安心サポート：現地確認による、仕様策定（見積）設備導入をサポート。当社試験圃場による、栽培技術研修も可能です。(2)出張サポート：現地に出向いてのアドバイスにより栽培をサポート。万が一のトラブル発生時にも、迅速に現場に駆けつけます。(3)技術サポート：当社の研究開発・栽培情報を提供します。



根の環境を科学する会社
株式会社 関東農産

〒325-0001 栃木県那須郡那須町大字高久甲字道西2691-3

TEL 0287-63-6213 FAX 0287-64-0976

URL: <http://www.kantoh-ap.co.jp>

<https://www.fb.com/k.nohsan>